

## 会議結果報告書

会議の名称	令和4年度第1回函館市子ども・子育て会議（書面会議）
日時・場所	令和4年11月29日（火） ※事前に書類を送付の上，質問・意見等を取りまとめ
出席委員 19名／19名中	池田委員，石坂委員，石田委員，小野田委員，数又委員，川村委員，北原委員，木村委員，佐々木委員，高野委員，高橋委員，高村委員，玉利委員，西村委員，長谷川委員，畑委員，本田委員，劉委員，吉増委員

議 事	概 要
(1) 第2期函館市子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の状況および施策目標について	<p>【概要】</p> <p>事務局より以下の資料について報告を行った。</p> <p>資料3 第2期函館市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）に基づく施策の状況および施策目標について</p> <p>【委員からの質問・意見等】</p> <p>別紙のとおり</p>
(2) 教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の提供体制について	<p>【概要】</p> <p>事務局より以下の資料について報告を行った。</p> <p>資料4 教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の提供体制について</p> <p>【委員からの質問・意見等】</p> <p>別紙のとおり</p>
(3) 第2期函館市子ども・子育て支援事業計画に関する需給計画の中間見直しについて	<p>【概要】</p> <p>事務局より以下の資料について報告を行った。</p> <p>資料5 第2期函館市子ども・子育て支援事業計画に関する需給計画の中間見直しについて</p> <p>【委員からの質問・意見等】</p> <p>別紙のとおり</p>
(4) その他	<p>【概要】</p> <p>その他質問・意見等について</p> <p>【委員からの質問・意見等】</p> <p>別紙のとおり</p>

令和5年(2023年)2月20日

# 令和4年度第1回 函館市子ども・子育て会議(書面会議)における 質問・意見等に対する市の考え方

## 目次

1. 資料3への質問・意見等に対する市の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 資料4への質問・意見等に対する市の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
3. 資料5への質問・意見等に対する市の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
4. その他質問・意見等に対する市の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4～6

1. 資料3への質問・意見等に対する市の考え方

No.	事業名等		意見者	質問・意見等		市の考え方	担当部局
1	P1	子育て支援隊	長谷川委員 (函館市中学校長会)	質問	令和4年度の延訪問回数の減は、コロナ禍による影響だけではなく、コーディネーター数が1名になった影響はないのでしょうか。	コーディネーターは1名体制となりましたが、利用調整に大きな支障は生じておらず、実際の訪問支援はビジター（支援員）が行っていることから、コーディネーター数の減が延訪問回数に影響したものではないと考えております。 延訪問回数の減の主な要因としては、コロナ禍における利用者の申込件数の減少や、イベント等の中止などで事業を周知する機会が減少したことによる認知度の低下が考えられますが、現在は、以前のように事業を周知する機会を確保できるようになってきていることから、今後、徐々に利用者数は回復していくものと考えております。	子どもサービス課
2	P10	青少年補導センター	長谷川委員 (函館市中学校長会)	意見	令和4年度の補導件数および注意・補導件数が増加している。現在も補導センター、小・中学生指導研究会、警察等の関係機関と連携し、健全育成に向けて尽力いただいています。この連携をさらに充実していただきたいと思います。	昨年度からの注意・指導件数の増加は、コロナ禍における青少年の行動が少しずつ平常に戻りつつあることが要因と考えられることから、今後においても早期に適切な指導を構じることができるよう、関係機関との連携をより一層強化してまいりたいと考えております。	次世代育成課
3	-	全体	高野委員 (函館市ファミリー・サポート・センター)	意見	どの事業も、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小したり、回数を減らしたりと思ったように活動できない状態が続いています。でもすべて中止にするのではなく、感染防止に留意しつつ行う方法を模索した結果とも言えます。色々な事業が、停滞すると子どもだけではなく、一緒にいる保護者も閉塞感を感じるのではないのでしょうか。実際、当センターの交流会を企画した際も親子で参加できるものが少ないので、楽しかったと喜んでもらえました。早く本来の姿に、戻りたいところではありますが、できることをできる分だけ行っていけたら良いと思います。	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止や規模の縮小を余儀なくされてきたところではありますが、可能なものは、適切な感染対策を講じたうえで集合形式でのイベント開催を再開したほか、オンラインによる開催あるいは講座の動画配信など、実施方法に工夫をこらしながら事業の継続に努めているところであります。 今後におきましても、感染状況なども見極めながら、事業を効果的に推進してまいりたいと考えております。	子どもサービス課 母子保健課 次世代育成課

2. 資料4への質問・意見等に対する市の考え方

No.	事業名等		意見者	質問・意見等		市の考え方	担当部局
1	P1 ～ P3	教育・保育の需給計画	石田委員 (函館保育協会)	意見	出生数の減少に伴い、待機児童の問題は解決されていますが、地域差数が多くあるので、難しい問題と考えます。	未就学の子どもの居住人口の違いにより、定員の空き状況には地域による差が生じておりますが、市全体および教育・保育提供区域ごとの需給状況は、量の見込みに対応できる提供体制となっておりますので、今後も利用者の希望を丁寧に聞き取り、施設の空き状況等の情報提供を行うなど、きめ細かい対応に努めてまいりたいと考えております。	子どもサービス課
2	P12	病児保育事業	劉委員 (函館短期大学)	意見	ひとり親家庭の自立支援や共働き世帯の子育て支援の観点から当事者の声を聴きながら病児保育の実質的な運営についても改善できたら良いと思います。	病児保育につきましては、引き続き、利用児童や保護者に寄り添った取り組みとなるよう、努めてまいりたいと考えております。	子どもサービス課

### 3. 資料5への質問・意見等に対する市の考え方

No.	意見者	質問・意見等		市の考え方	担当部局
1	石田委員 (函館保育協会)	意見	3号認定の0歳の減は、出生数減のほか、育児休業の充実も多々あるのではないかと感じる。	令和4年度における0歳児の利用者の減については、0歳児の人口が大幅に減少した影響が大きかったものと認識しておりますが、ご指摘のとおり、育児休業制度の充実、職場復帰する時期に影響を与えることから、0歳児の利用が減少する要因の一つであると考えております。	子ども企画課 子どもサービス課

#### 4. その他質問・意見等に対する市の考え方

No.	意見者	質問・意見等	市の考え方	担当部局
1	西村委員 (函館商工会議所)	意見 物価の高騰が各家庭に及ぼす影響が大きいと思いますので、必要なところへ支援が行き届くようお願いしたいです。	原油価格高騰、物価高騰等は、どの子育て世帯の家計にも厳しい影響を及ぼしており、子育て世帯の生活の支援を行う観点から、国や道の給付金に加え、市独自の給付金の支給も行っているところではありますが、今後も引き続き状況を注視しながら、子育て世帯への支援に努めてまいりたいと考えております。	子育て支援課
2	数又委員 (函館市民生児童委員連 合会)	意見 全国的に保育園職員による虐待や通園バスから園児を降ろし忘れるなどニュースとなっていますが、職員の研修や行政の視察など、これから大切になってくるものと思われま。子どもの数がどんどん減少している今こそ、行き届いた保育が望まれます。安心して成長できる環境が大切です。何か対策を考えているでしょうか。	全国的に見ると、幼児教育・保育施設での痛ましい事故や悲惨な事件が相次いで発生しております。幸い、市内ではこのような事故等は起きておりませんが、今年度は、職員研修や指導監査の機会を通じ、施設の安全管理について重点的な注意喚起等を行ったところ。子ども達の成長にとっては保育環境の充実が大変重要でありますことから、保育士等への研修や指導監査等、今後も様々な機会を通じて、各施設の保育の質の向上に向けた取り組みを続けてまいりたいと考えております。	子どもサービス課
3	川村委員 (函館市私立幼稚園協 会)	意見 ○幼児、児童の保護者の車内での受動喫煙防止について 函館市市内の世帯の多くが、保護者1名に車1台を保有していて、自らの子どもの移動にその車両を利用している状況です。また、ここ道南は全国の喫煙率と比較すると、女性の喫煙率が高い状況にあるというのは周知の事実であり、市内でも保護者が子どもを車に乗せたままの状態です。おそらく、このような親たちは自宅での自らの子どもたちへの受動喫煙における健康被害という意識が希薄であり、また、今般増税に伴うタバコの値上げにもかかわらず、家計よりタバコの代金を捻出しているということは、見方を変えれば、幼児のいる家庭は幼児教育が無償化になり教育・保育の費用が掛からなくなった分がタバコ代に充当されてしまっているというとても悲惨な事実であり、無償化の費用がそうした使われ方をしていることに疑問を感じます。 函館市の取り組みで小学生に向けた喫煙の健康被害を伝えるという活動はありますが、この程度では、喫煙をする保護者たちの意識が変わることは期待できません。たとえば、禁煙外来に通院し、禁煙に成功した場合にその費用を補助するなどの措置をしなければ、啓蒙程度では現状の打開は困難だと思います。是非、幼児・児童の受動喫煙ゼロに向けた取組の強化を願います。	幼児、児童の受動喫煙の防止につきましては、妊娠届を提出する際やプレママ・プレパパ教室（両親学級）開催時に妊娠中の喫煙、受動喫煙の害についてのリーフレットを配布するとともに、乳幼児健診時（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）に保護者全員に対し子どもの受動喫煙の害についてのリーフレットを配付しておりますほか、子育てサロンや児童館、幼稚園、小学校、放課後児童クラブなどにおいて保護者に向けた出前講座を実施しているところですが、今後さらに機会を捉えて、妊婦や子どもにとってより一層配慮が必要であることを周知・啓発してまいりたいと考えております。	健康増進課

No.	意見者	質問・意見等	市の考え方	担当部局
4	川村委員 (函館市私立幼稚園協会)	意見 ○認定こども園の送迎バスの維持費用について 昨年と今年発生した、園児の送迎バス内の置き去りに伴う死亡事故を受けて、園の送迎バスの管理状況の再確認が国より通達されるなど、認定こども園に対し、これまでも増して安全運行の徹底が求められていると認識しておりますが、送迎バスを運行するためには、法定点検等の車両の維持費や燃料代、人件費など多くの費用が必要であり、コロナ、ウクライナ情勢で食品、エネルギーなど社会情勢の影響による費用の増加もある中、大切な園児に充当しなければならない財源をそちらに割くこととなっております。 つきましては、車両点検等の送迎バス運行上の費用負担に関して、何らかの支援措置のご検討をお願い致します。	物価高騰等の社会情勢の影響に対しては、令和4年度補正予算において、安定した施設運営のため、給食原材料費や光熱費の負担増に対する支援策を講じたところではありますが、現時点では、限られた財源の中で、送迎バスの車両点検等の運行費用のみを対象とした個別の支援策を実施することは難しいものと考えております。	子どもサービス課
5	高野委員 (函館市ファミリー・サポート・センター)	意見 放課後児童クラブ（学童保育所）についてですが、フルタイム勤務ではない保護者が夏休みなどの長期休みだけ、利用したいと思っても1年間を通しての契約となるため、利用することができずに困ったという声がありました。短期間でも預かってくれる学童保育所もあるのでしょうか。短期間での利用が可能であれば、低学年だと一人で留守番も難しいので保護者は助かると思います。	本市における放課後児童クラブいわゆる学童保育につきましては、通年での利用を基本としており、施設面積や職員配置の関係から、夏・冬等の長期休みに限定した利用のみの児童の受け入れは難しい状況にありますが、少子化が進むなか、学童保育の充実を図るうえで、多様なニーズへの対応が必要になることから、今後、どのような取り組みが可能なのか調査・研究してまいりたいと考えております。	次世代育成課
6	高野委員 (函館市ファミリー・サポート・センター)	意見 新型コロナウイルス感染症のために、学級閉鎖になった小学校1～3年生までの児童を当該児童が通う小学校の教室で見守るという対応を「次世代育成課」の「子どもなんでも110番」が窓口となって行っています。仕事を休むことができずに困っている保護者に紹介したところ、知らなかったとのことでした。検査を受けて陰性となった場合など条件つきですが、利用したい保護者もいるのではないのでしょうか。十分周知されていないかと思いました。	事業の周知につきましては、学校から保護者に送る学級閉鎖の連絡メールに、「見守りが必要な方は子どもなんでも相談110番に連絡いただきたい」旨、併記しているところですが、より利用しやすくわかりやすい内容とするため、文面の変更を行うなど、工夫しながら周知に努めているところであります。	次世代育成課

No.	意見者	質問・意見等	市の考え方	担当部局
7	高野委員 (函館市ファミリー・サポート・センター)	意見 ファミリー・サポート・センターでは、年々提供会員が減少しています。会員の高齢化による退会と、子育て世代は安定した収入を求めて就業するためと考えられます。募集をしてもなり手が少ない状態が続いています。このままでは、先細りするばかりで十分に子育て中の、保護者のニーズに応えきれない事態になりかねません。実際高齢化に伴い車での送迎は、控えたいという会員の申し出も増えていきます。反対に働いている保護者からの、塾や習い事の送迎のニーズが増えていますが、応えられないこともありました。出産後や保護者の病気の時などは、なんとかしたいと思っていますが難しいこともあります。民間のタクシー会社で「キッズタクシー」などがありあくまでも保護者の判断でと、紹介することもありました。あくまでも私個人としての考えですが、出産後や保護者の病気の時など、タクシーの料金を助成することはできないでしょうか。 子ども・子育て会議が開催された際に、幼稚園・保育園・学校を退職された方でファミリー・サポート・センターの提供会員になって下さるように働きかけていただけないかお願いするつもりでした。提供会員募集のチラシの作成や、何か媒体を使って周知したいと模索中ですが、なんらかの形でお世話になるかもしれません。その際はよろしくお願いたします。	共働き世帯の増加や地域のつながりの希薄化など子育て世帯を取り巻く環境が変化中、ファミリー・サポート・センターに期待されるサポート内容が多様化してきておりますが、ご意見にありました一部の利用者を対象としたタクシー料金の助成につきましては、現時点では難しいものと考えております。 また、ご指摘のとおり提供会員の会員数は、年々減少してきているところであり、市といたしましても、提供会員の募集について、現在行っている市政はこたてや市ホームページ等による周知のほか、ご提案いただいた方法も含めて周知方法を検討してまいりたいと考えております。	子どもサービス課
8	木村委員 (函館市社会福祉協議会)	意見 0歳児から18歳までのすべての子どもたちのための、函館市子ども・子育て会議と思います。函館市子ども未来部で各部局の取りまとめをいただきありがとうございます。しかし、国・道では、各部局・省庁から担当者が集まり、委員提案の新しい施策等を検討していると思いますので、委員からの施策案を取り入れる体制の確立をお願いいたします（例えば、函館市教育委員会の教育振興施策と子ども・子育て会議との整合性等）。縦割り行政ではなく、横割り行政をお願いいたします。	本市の子育て支援策につきましては、母子保健や福祉、教育、経済など様々な分野にわたるものであり、関係部局が連携しながら、取り組んでいくことが必要であるため、これまで、各部局における取組状況などについて、関係部局での情報共有に努めているところであります。 今後におきましても、具体的な施策の検討や事業の実施にあたりましては、子ども未来部を中心に、関係部局間での連携をより密にし、情報交換を図りながら、子育て支援策を推進していくとともに、子ども・子育て会議の場において、各委員からご意見を聞かせていただき、施策への反映に努めてまいりたいと考えております。	子ども企画課
9	劉委員 (函館短期大学)	意見 実際に関わる人の中で、障がいを持つ保護者の下で育てられた人と、子連れで再婚をして相手の方と子どもとの関係での悩みを聞いたことがありました。 今後、障がいのある保護者による子育て家庭への支援、子連れの再婚家庭への支援についてもアプローチしていただければと思います。	障がいのある保護者による子育て家庭への支援につきましては、要件や個々の利用者、子ども、家庭等の状況を勘案し、必要に応じて障害者総合支援法に規定する居宅介護（家事援助）等の対象範囲に含まれ、利用者（保護者）へのサービスと一体的に行う子ども分の掃除、洗濯、調理や子どもが通院する場合の付き添いなどの支援を行っているところであり、今後におきましても、利用者やその家族などの状況を十分に勘案しながら、支援に努めてまいりたいと考えております。 また、子連れの再婚家庭への支援につきましては、本市では、子どもに関するあらゆる相談に対応する「子どもなんでも相談110番」を設置しており、保護者のみならず、子ども本人からの相談を受け付けておりますので、アプローチという視点は難しいところではありますが、より相談しやすい窓口として質の向上に取り組むとともに、積極的な周知に努めてまいりたいと考えております。	障がい保健福祉課 次世代育成課